

# 話が伝わり

## マスク

千葉県

六年 黒田 怜生 さん



最優秀賞受賞おめでとうござい  
ます。今回のプレゼンでよかったのは  
どんなところですか。

少し笑いを入れたところ。審査  
員の方たちが笑ってくれている  
のが見えたのでウケてるなって  
思いました。

点数を付けるとしたら何点くらい  
ですか。

全体的には良かったんですけど、  
多少早口になってたんでだいた  
い八十点ぐらいですかね。

なるほど。黒田さんは、人前で発  
表することは得意な方ですか。

まあまあ、得意な方です。普段  
はあんまり緊張しないけど、今  
回は緊張しました。

今回はどうして緊張したの。

発表が2分縛りだったので。2  
分の中に入れるのが難しかった。  
できれば早口にならないように  
内容も短縮したいって考えてた  
のですが、短縮しちゃうと言  
いたいことが伝わらないかもしれ  
なくて。

確かに悩みますよね。時間は短  
縮したいと思いつつ、怜生さん  
の発表にはストーリーがあり、  
一人二役の動きありましたよね。

とても素敵だったと思います。  
あんな動きの工夫はどうやって  
思いついたのですか。

特に考えずに動いてました。自  
然に身についちちゃってる感じ。

何かになりきるのが得意なのか  
もしれません。何かを読んだ時  
にすごく感情移入できると思  
います(母)

そうなんです。それって音読  
や係活動でのクイズ発表が得意  
とか、何かと結びつくことがあ  
りますか。

落語ですかね。国語の教科書に  
も出てくるんですけど、そうい  
うのを聞いててすごくなりき  
てるかも。

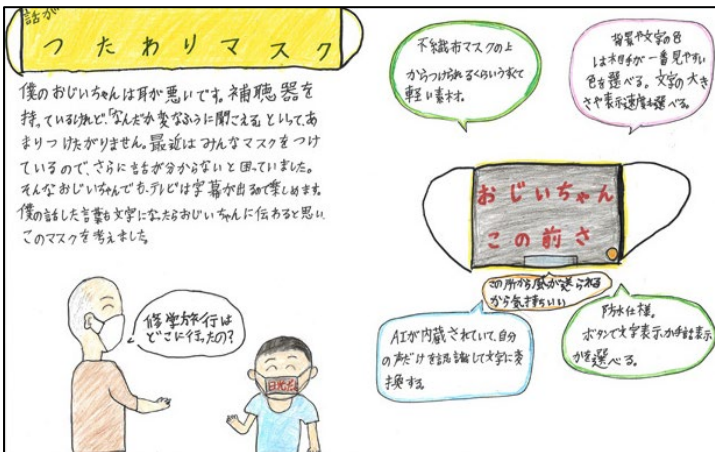
面白いですね。落語も複数の役  
になりきってお話を進めますよ  
ね。実際やってみてどうでし  
たか。

楽しかったですね。

次に、作品づくりについても教

えてください。一番大変だった  
ことはなんですか。

マスクで電光掲示板みたいに流  
れるようにしたかったのだけ  
ど、流す仕組みが難しかったです。  
なめらかさとか、スムーズに動  
くとか、破けないかとかを考  
えました。はじめは、文字をシ  
ールにしようと思ってたので、  
シールがなるべくはがれないよ  
うにしようのがあったんです  
けど、やっぱりシールでやって  
しまうと、何回もやるときにち  
よつと擦れて取れちゃうんです  
よ。しかもシールは大きいので。



小さなシールにすると、なお  
さら剥がれやすくなる。それで、  
ちよつとシールはやめようって  
いうことでコピー用紙。コピー  
用紙なら色も変えられますし、  
字の大きさも変えられるって  
いうことを生かしてコピー用紙に  
しました。

なるほど、確かに難しいところ  
を工夫していましたね。  
ちなみに、どうしてマスクにし  
ようと思ったのですか。

マスクをつけたとき、僕は多少

# マイナスをプラスに変える発想

## 誰にでもフィットする工夫

## 優しいアイデアの詰まった

## みんなを幸せにする作品

声が高いので、ちょっとおじいちゃんに話しても、なかなか伝わりにくいんです。マスク付けたらもっと伝わりにくいって言うので嘆いていたのを聞いたので、それなら、もうその嫌なマスクをいいものに変えようって言うことでマスクを選びました。

そうなんです。マイナスなものをプラスにしようとする発想

が面白いですね。

そのマスクには、今回は色の工夫や背景の工夫などがありますよね。これはどうやって知ったのですか。

まあ、色覚障害とかそういう点、今は多様性の時代で、いろんな人もいるので、全ての人にフィットするように、文字の大きさや表示速度、色などを工夫しました。その人の一番見やすい様になって変えられると便利かなと思って考えました。

なるほど、全ての人にフィットする考え方、これからも大事なことです。さらにこのマスクは「 $\pi$ 」も付いていますよね。これはどうして付けようと思ったのですか。

もうだんだん「 $\pi$ 」ロボットとかを使うようになってきているので、それなら、このマスクのアイデアにもそれを入れようって言うことで、プログラミンングも、3年生ぐらいまでやってました。

どんどん面白いことを取り入れてるんですね。では、防水機能は

どうして思い付いたのかな。

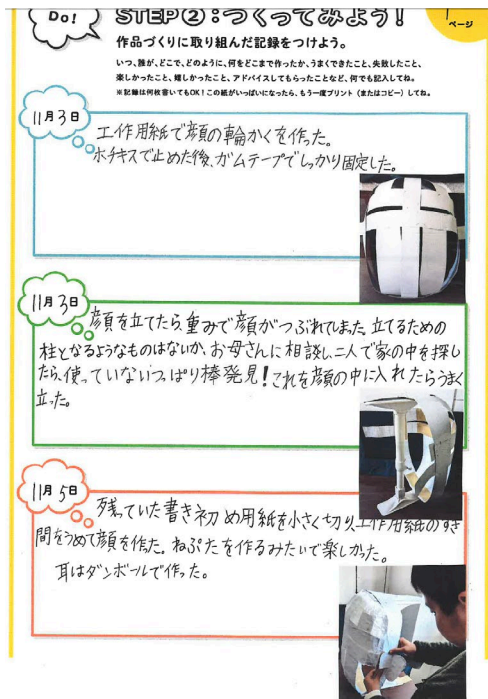
夏休みの宿題でアイデアをまとめて、その後学校でもっといいアイデアにするためにみんなからアイデアをもらうことがありました。その時に友達から、付けたらどうって言われて、いいなと思いました。

アイデアを交流する会があったよかったですか。

よかったですと思います。

最後に、将来の夢は何ですか。

ドリームマップに、建築士になりたいと書いています！



▼あとがき▼マイナスに考えていたことをプラスに変える発想

が、大切な人を幸せにする。インタビュを通じて、怜生さんの優しさや温かい心が伝わってきた

▼電光掲示板のように文字を流す工夫を立体作品に表すための工夫には、日常用品をフル活用したアイデアが詰まっている

▼「身近な物で何か使える物はないかな？」と道具の形や用途を基に試行錯誤してイメージを確かにしていくプロセスはものづくり本来の楽しさを彷彿する

▼最新技術を取り入れたり、色覚への配慮をしたりと、多様化の時代で一人一人にフィットするアイデアをうまく生かして

いる(HO)

### アドバイザーとしてのお母さんから

サポートする際に大変だったなと思ったのは、勉強と両立させるところです。疲れちゃって、ちょっとまあやろうって言っても、気分が乗らない時もありました。そこをうまく一緒にやっていこうって言ったところや、本人も工作で苦労した、電光掲示板みたいに滑らかにするってところを何度も一緒にやっていくところ。そこが難しかったかなと思います。アイデアコンテストを通して成長したのは、やっぱり自信がついたところ。図工のものづくりに関して、今まで苦手意識がすごく強かったのですが、ものづくりも楽しいって感じてくれたところも変化したところで、嬉しいところでもあります。やっぱりみんなから褒めていただいて、自分でも納得のいくプレゼンができたということで、すごく自己肯定感が上がったと思います。これからも「こういう場があったらどんどんやっていきたい」という積極性も出たと思うので、とてもそういう面ではありがたい機会だったなと思います。